

KENWOOD

5.1ch サラウンドプロセッサー内蔵 DVD レシーバー

VDR-05

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用す
ることはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

● 使いこなし！
ファンクショナルオペレーション
Functional Operation

● ここさえ読めばひとまず OK!
イージーオペレーション
EZ Operation



© B64-2831-00/01 (J)

Functional Operation

電源 / ソース選択

時計調整

オーディオ調整

チューナーモード

ディスクプレイ

DVD セットアップ

ディスプレイコントロール

メニューシステム

EZ Operation

リモートコントロール

困ったときは…

Help

Help

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
ディスクの取り扱い	11

ここさえ読めばひとまず OK!
イージーオペレーション

EZ Operation

DVD、CD、FM/AM 放送	12
-----------------	----

リモコンでも操作できるゾ！

リモートコントロール

リモートコントロール	48
------------	----

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help

Help ?Operation	52
Help ?MP3	56
Help ?Word	58

付 録

取り付け時のご注意	60
接続	62
取り付け	64
保証とアフターサービス	66
仕様一覧	67

使いこなし！ ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

電源 / ソース選択	14
電源を入れる	
電源を切る	
ソースを選択する	
時計調整	15
時刻を合わせる	
オーディオ調整	16
音量を調整する	
ミュート	
オーディオ調整モード	
チューナーモード	18
チューナーソースモード	
バンド切り替え	
オートチューニング	
マニュアルチューニング	
マニュアルメモリー	
オートメモリー	
プリセットチューニング	
スキャンチューニング	
ディスクプレイ	22
DVD ソースモード	
イジェクト	
ディスクプレイ	
ポーズ	
停止	
チャプター / トラック / ファイルサーチ	
早送りと早戻し	
MP3 フォルダーリスト	
GOTO サーチ	
ダイレクトトラックサーチ	
ランダムプレイ	
リピートプレイ	
スキャンプレイ	
MP3 プレイモード	
スロー再生	
PBC (プレイバックコントロール) 機能の設定	
DVD のメニューを使う	
音声言語切り替え	
字幕の言語切り替え	
映像アングルの切り替え	
音声切り替え	
音声出力のチャンネル設定	
テレビタイプの設定	
タイトル情報 / ダイジェスト表示	

DVD セットアップ32

DVD セットアップ

画面アスペクト設定

ピクチャーモード設定

映像アングルマーク表示設定

クローズドキャプション設定

スクリーンセーバー設定

デュアルモノ音声の設定

ダイナミックレンジの圧縮設定

ドルビープロロジックの設定

音声出力のチャンネル設定

スピーカーの環境設定

テストトーン

テレビタイプの設定

音声言語の設定

字幕言語の設定

ディスクメニュー言語の設定

パレンタル地域の設定

パレンタルロック (視聴制限) の設定

パスワードの変更

設定の初期化

ディスプレイコントロール.....44

本体表示切り替え

ディスク演奏時間表示切り替え

操作パネルのアングル調整

メニューシステム.....46

メニュー設定

電源 / ソース選択

時計調整

オーディオ調整

チューナーモード

ディスクプレイ

DVD セットアップ

ディスプレイコントロール

メニューシステム

リモートコントロール

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまず OK!
イージーオペレーション

EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。

ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

Help

?MP3

プレイできる MP3 ファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。

?Operation

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

?Word

取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [リモートコントロール]、本機の取り付け方法などを説明した [付録] があります。



取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて



共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



ディスクの操作

DVD/ビデオ CD/音楽 CD/MP3 をプレイする操作を表しています。

なお、この取扱説明書では、DVD とビデオ CD、音楽 CD、MP3 メディアをまとめて「ディスク」と呼んでいます。また、MP3 の収録された CD-R などを「メディア」と呼んでいます。



チューナーの操作

FM/AM 放送を受信する操作を表しています。



注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



1 秒以上押す

1 秒以上押す操作を表します。

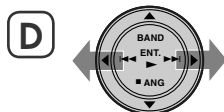


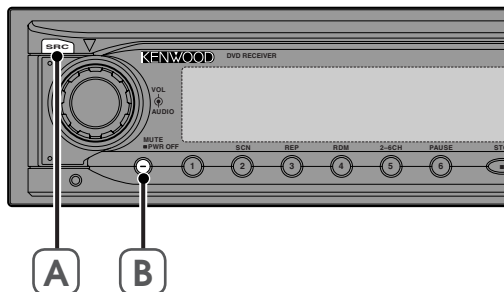
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。

上記では 1 秒間押すことを示しています。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

動かす

ボタンを左右上下に動かす操作を表します。





時刻を合わせる

時計表示の時刻を合わせます。

ディスプレイ表示

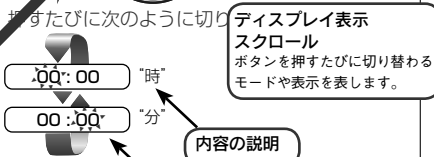
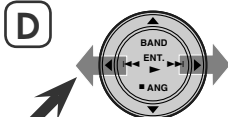
1 時刻表示にします



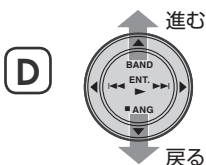
2 時刻調整モードにします



3 調整項目を選択します



4 時刻を合わせ



5 時刻調



- 5秒間
れます
- 時刻を
ニュー
定でき

電源 / ソース選択

時計調整

オーディオ調整

チューナーモード

ディスクプレイ

DVDセットアップ

ディスプレイコントロール

メニューシステム

リモートコントロール

Help

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い
頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害
を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしてい
ます。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、
誤った取り扱いをする
と、人が死亡または重
傷を負う可能性が想定
される内容を示してい
ます。



注意

この表示を無視して、
誤った取り扱いをする
と、人が傷害を負う可
能性が想定される内容
を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促
す内容があることを告げるもので
す。近傍に具体的な注意内容が描
かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを
告げるものです。図の中や近傍に
具体的な禁止内容（左図の場合は
分解禁止）が描かれています。



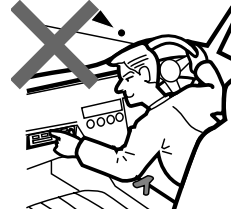
実施

●記号は行為を強制したり指示す
る内容を告げるものです。近傍に
具体的な指示内容が描かれていま
す。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、そ
の他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害について
は、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任
を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず
以下の事項をお守りください。

警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、
必ず、安全な場所に車を停車させてから、
行ってください。

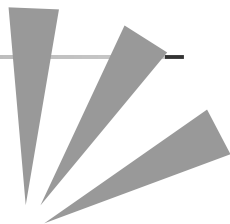
- カーオーディオの操作（音量調節、ディ
スクの挿入・取り出し など）
- テレビやビデオを見る



実施



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程
度でご使用ください。



⚠ 注意

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



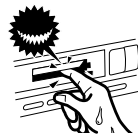
禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをすることがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

使用上のご注意

安全走行のために

走行中はフロント映像出力に接続されたテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

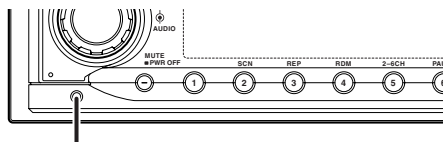
オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードになると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM 放送以外のソースに切り替えてください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help」(52 ページ) を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。リセットボタンを押すとメモリーや設定が消えて工場出荷状態に戻ります。ただし、「DVD セットアップ」(32 ページ) で設定した内容は消えません。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。


セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

本機で再生できるディスク

以下のディスクが本機で再生できます。

- DVD-Video (リージョン番号が「2」または2を含むものと「ALL」が付いたもの)
- DVD-R (DVD-Video フォーマットに準じて記録されているもの)
- VCD (ビデオ CD)
-  マークの入った音楽 CD (CD-R/RW はファイナライズ処理を行っているもの)
- CD-ROM/R/RW (56 ページに記載のフォーマットのみ)

DVD-R、CD-R/RW に記録されたディスクは、記録状態により再生できない場合があります。

また、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。(ファイナライズ処理については、お使いのレコーダーやライティングソフトの説明書をご覧ください)

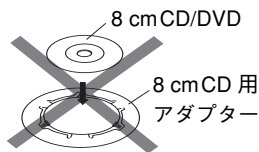
使用できないディスク

8cmCD、8cmDVD は使用できません。

8cmCD、8cmDVD を使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、8cmCD アダプターは使用しないでください。

8cmCD アダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



DVD-ROM、DVD-RAM、DVD-RW、DVD+R/RW、HQ-VCD、フォト CD などのディスクは再生できません。「本機で再生できるディスク」をご覧ください。

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



記録面 (レーベル面の反対側) が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能な DVD-R、CD-R/RW は使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。





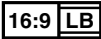
ディスク用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ (スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど) は故障の原因となりますので使用しないでください。



使用上のご注意

DVD ディスクのマーク

記号	内容
	このマークが付いているディスクはどの DVD プレーヤーでも再生できます。リージョン番号を表します。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ (4:3) で見た場合、ワイド映像 (16:9) は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

操作規制マークについて

DVD や VCD ディスクは、再生箇所により本機でのプレイ操作等規制される場合があります。このようなときは右のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクの取扱説明書をご覧ください。

禁止マーク



DVD is a trademark of DVD Format/Logo Licensing Corporation registered in the U.S., Japan and other countries.

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

"DTS" and "DTS Digital Surround" are registered trademarks of Digital Theater Systems, Inc.

ディスクの取り扱い

ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)

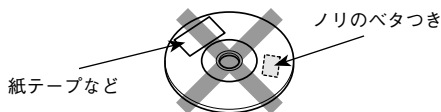


CD-R/RW や DVD-R は通常のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。

詳細な注意事項がディスクのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

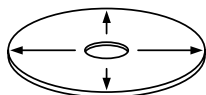
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



ディスクのお手入れ

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



ディスクの保存

直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高くなる場所には置かないでください。

特に CD-R/RW や DVD-R は通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

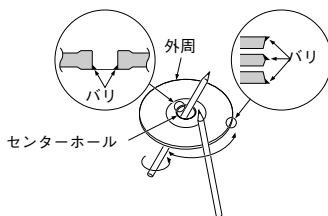
長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。

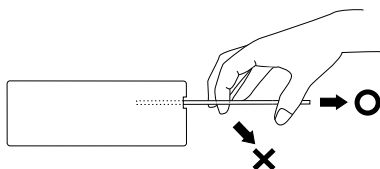
"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



EZ Operation

ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。



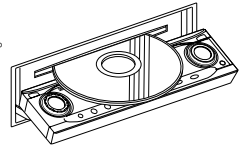
DVD/ビデオ CD/音楽 CD/MP3 をプレイするときは…

▶ を押して操作パネルをスライドさせ、プレイするディスクを差し込みます。
ディスクが引き込まれ、パネルが閉まります。





ディスクを取り出すときは…

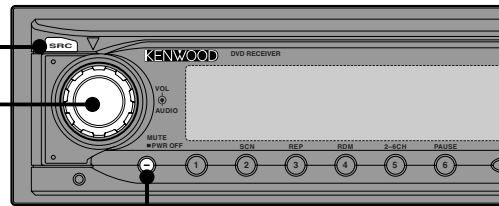
▶ を押します。
操作パネルがスライドして、ディスクがイジェクトされます。
もう一度 ▶ を押すと、パネルは閉じます。





- プレイできる MP3 メディアや、フォーマット、書き込み方法の注意などが「Help ?MP3」(56 ページ)に記載されています。メディアを作成する前にご覧ください。
- スライドさせた操作パネルに無理な力を加えないでください。

 **DVD/CD のプレイと FM/AM 放送、AUX を切り替えます。**
ディスクが入っているときに押すと、FM/AM 放送、DVD/CD、AUX に切り替わります。

 **音量を調整します。**
小さく  大きく



 **音声を一時的に消す。**
押すと音量が一時的に消音になります。
もう一度押すと、元の音量に戻ります。

 **電源をオン/オフします。**
車のエンジンキーのオン/オフに連動して本機の電源もオン/オフします。
1秒以上押すと電源がオフになります。
もう一度押すと電源がオンになります。



DVD/CD/MP3 の操作



チューナーの操作

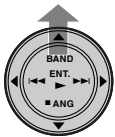
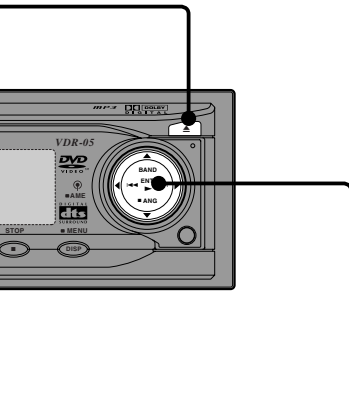


共通の操作

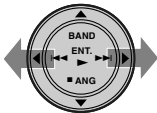


注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。



FM/AM 放送のバンドを切り替えます。
(FM1/FM2/FM3/AM1/AM2)



プレイする曲を選びます。



受信する放送局を選びます。

電源 / ソース選択

時計調整

オーディオ調整

チューナーモード

ディスプレイ

DVD セットアップ

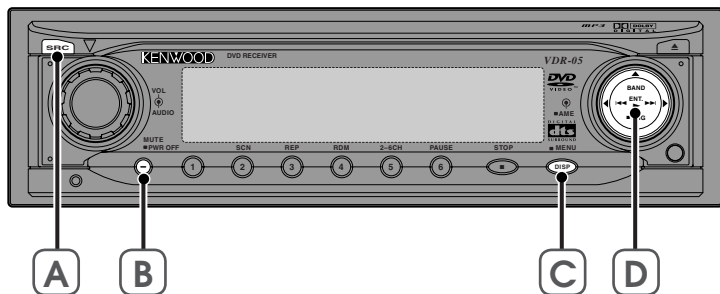
ディスプレイコントロール

メニューシステム

リモートコントロール

Help

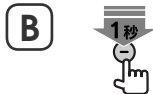
電源 / ソース選択



電源を入れる



電源を切る



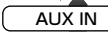


ソースを選択する

プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。

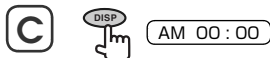
-  **TUNER** FM/AM 放送を受信
-  **DVD** DVD またはビデオ CD、音楽 CD、MP3 ファイルをプレイ
-  **AUX IN** AUX に入力された音を出力

- DVD ソースモードを選択しているときのみ映像が出力されます。また、フロント用ビデオ出力は、パーキングブレーキをセットしないと映像を出力しません。

時刻を合わせる

時計表示の時刻を合わせます。

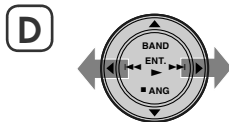
1 時刻表示にします



2 時刻調整モードにします



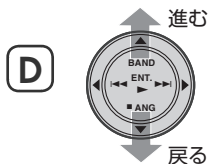
3 調整項目を選択します



押すたびに次のように切り替わります。



4 時刻を合わせます



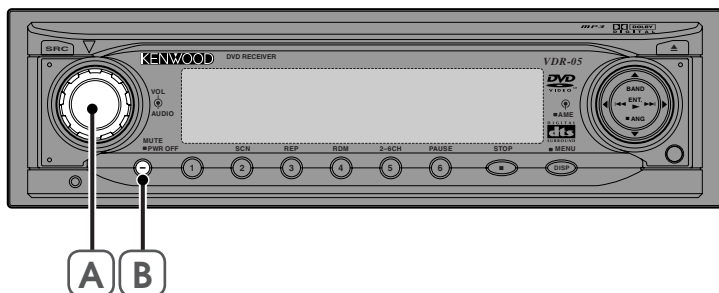
手順3、4を繰り返して時刻を合わせます。

5 時刻調整モードを終了します

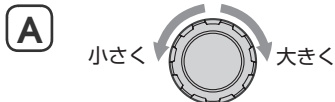


- 5秒間何も操作しないと時刻調整モードは解除されます。
- 「メニュー設定」の「Clock」項目で時刻を24時間表示に替えることもできます。(46ページ)

オーディオ調整



音量を調整する



ミュート

音量を一時的に消音にします。



押すたびに、ミュートがオン/オフされます。ミュートがオン中は MUTE インジケーターが点灯します。

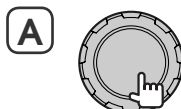
● ボリュームを操作するとミュートは解除されます。

オーディオ調整モード

バス、トレブルなどの音質やバランスやフェーダーの音量を調整します。

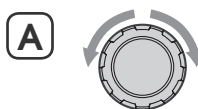
また、DVD ソースの6チャンネル音声出力では各スピーカーの音量を調整します。

1 調整項目を選択します



押すたびに調整項目が順に切り替わります。

2 値を調整します



調整できる項目と値は次のとおりです。

チューナーソース、DVD ソース (2チャンネル出力)、AUX ソース中

表示	調整値
Bass:* (バス：低音の音量)	-7 ~ 0 ~ +7
Treble:* (トレブル：高音の音量)	-7 ~ 0 ~ +7
Balance: (バランス：左右の音量差)	L9 ~ 0 ~ R9
Fader: (フェダー：前後の音量差)	R9 ~ 0 ~ F9
Loud: (ラウドネス：低音と高音の増強)	OFF / ON
Sound: (サウンド：プリセットされた音質を選択)	USER (ユーザー) / SOFT (ソフト) / HARD (ハード) / SHARP (シャープ) / CINEMA (シネマ)
Volume: (ボリューム：全体の音量)	00 ~ 40

- *項目は、“Sound” (サウンド) を“USER”に設定しているときのみ調整できます。

DVD ソース (6チャンネル出力) 中

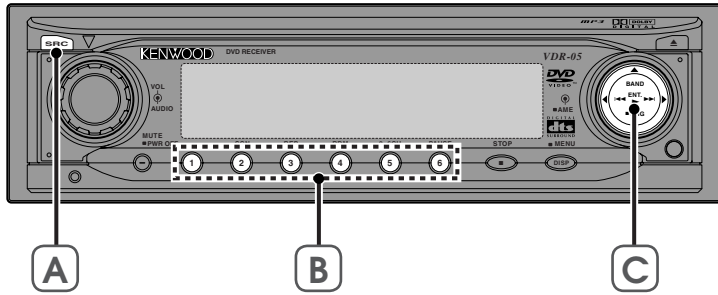
表示	調整値
FrontL: (フロント左の音量差)	-10 ~ CNT ~ +10
Center: (センターの音量差)	-10 ~ CNT ~ +10
FrontR: (フロント右の音量差)	-10 ~ CNT ~ +10
RearL: (リア左の音量差)	-10 ~ CNT ~ +10
RearR: (リア右の音量差)	-10 ~ CNT ~ +10
SUB.W: (サブウファーの音量差)	-10 ~ CNT ~ +10
Volume: (全体の音量)	00 ~ 40

- 各スピーカーの音量調整を行う前に、DVD セットアップの「スピーカーの環境設定」(38ページ)を設定してください。

3 オーディオ調整モードを終了します

5秒間何も操作しませんが、

チューナーモード



チューナーソースモード

FM / AM ラジオ放送を聴くモードです。

A

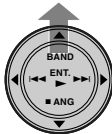


TUNER

数回押してチューナーソースモードを選択します。

バンド切り替え

C



押すたびに次の順で切り替わります。

FM1

FM2

FM3

AM1

AM2

オートチューニング

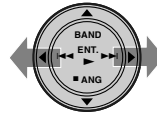
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

C



FM ステレオ放送を受信すると ST インジケーターが点灯します。

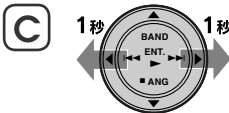
マニュアルチューニング

受信する放送局を手動で選びます。

1 バンドを選びます

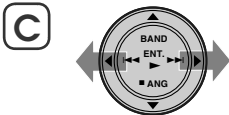
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 マニュアルチューニングモードにします



周波数が1ステップ替わるまで押し続けます。

3 放送局を選びます



押すたびに、周波数が1ステップずつ替わります。

- 5秒間何も操作しないとマニュアルチューニングモードは解除されます。
- バンド切り替えや音量を調整するなど、他の操作をおこなうとマニュアルチューニングモードは解除されます。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

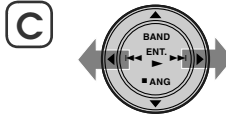
マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

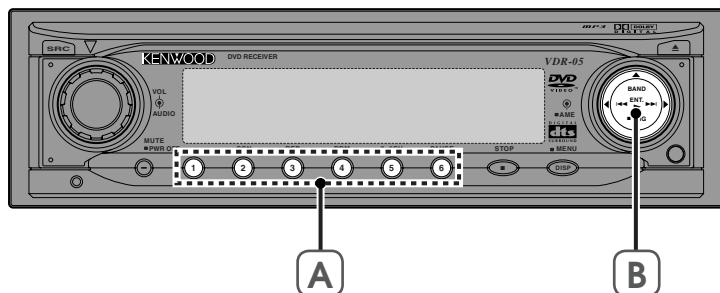
2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



チューナーモード



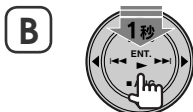
オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

「バンド切り替え」(18ページ)を参照してバンドを選びます。

2 オートメモリーを開始します



周波数表示が動き出すまで押し続けます。

- 周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

プリセットチューニング

メモリーボタン(1~6)にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

「バンド切り替え」(18ページ)を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン(1~6のいずれか)を選びます



押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

スキャンチューニング

受信可能な放送局を約5秒ずつ順に受信します。

1 バンドを選びます

「バンド切り替え」(18 ページ) を参照してバンドを選びます。

2 スキャンチューニングを開始します

B



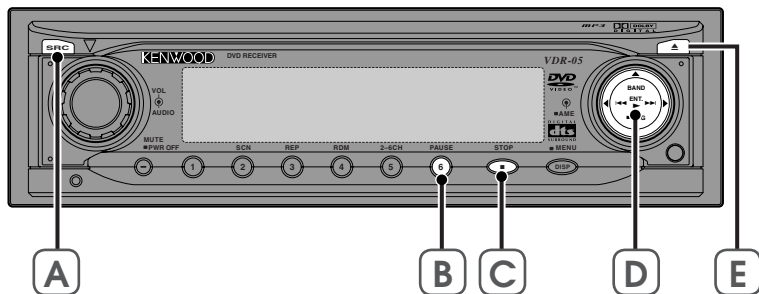
スキャンチューニング中は SCN インジケータが点灯します。

3 スキャンチューニングを終了します

B



ディスクプレイ



DVD ソースモード

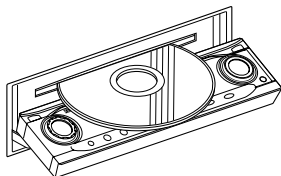
ディスクが入っていない場合

1 操作パネルを開きます



! 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

2 ディスクを挿入します



操作パネルが閉じて、ディスクのプレイが始まります。

ディスクが入っている場合



数回押して DVD ソースモードを選択します。ディスクのプレイが始まります。

イジェクト

1 ディスクを取り出します



操作パネルが開き、ディスクが排出されます。

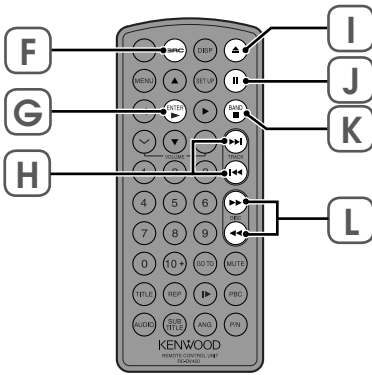
2 操作パネルを閉じます



ディスクプレイ



- フロント用ビデオ出力は、パーキングブレーキをセットしないと映像を出力しません。
- MP3 を記録したディスクはメディアを確認するため、再生が始まるまで若干の時間がかかります。



ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。



もう一度押すとプレイを再開します。

停止

1 再生を停止します



ビデオ CD、音楽 CD、MP3 は、再生が停止します。

DVD は、現在の位置を記憶して再生が停止します。

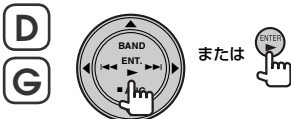
● ディスクによっては再生位置を記憶できない場合があります。

記憶した位置を消去するには… (DVD のみ)



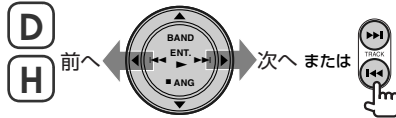
次に再生するときは初めから再生します。

2 続きから再生する (DVD のみ)



チャプター / トラック / ファイルサーチ

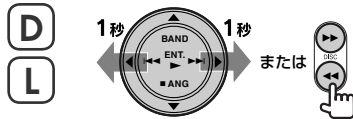
プレイする曲を選びます。



ディスク	動作
DVD	チャプターが順に替わります
ビデオ CD [PBC OFF]	トラックが順に替わります
音楽 CD	トラックが順に替わります
MP3 メディア	ファイルが順に替わります

● ビデオ CD の PBC ON 中は操作できません。

早送りと早戻し

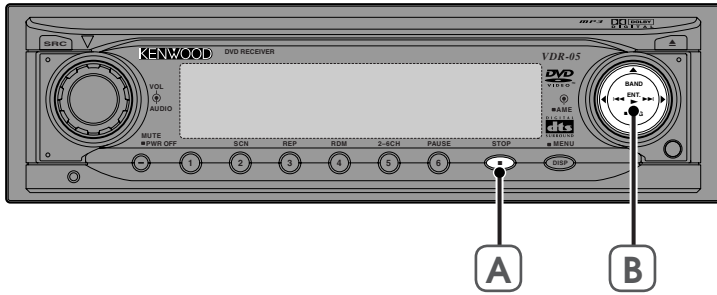


押すたびに次のように替わります。

速度	画面表示
2 倍速	"FF 2X" / "FR 2X"
4 倍速	"FF 4X" / "FR 4X"
6 倍速	"FF 6X" / "FR 6X"
8 倍速	"FF 8X" / "FR 8X"
通常再生	"PLAY"

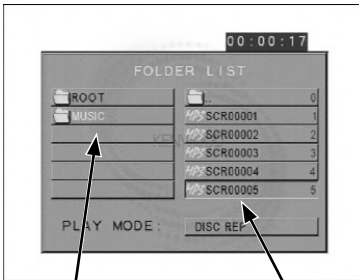
● DVD およびビデオ CD の音声は出力されません。
● 音楽 CD は 6、8 倍速では音声は出力されません。

ディスクプレイ



MP3 フォルダーリスト (MP3) プレイするフォルダーやファイルを選びます。

1 再生を停止します



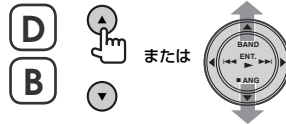
フォルダーリスト ファイルリスト

2 フォルダーリストを選びます



選択したところが奥まったボタン表示になります。

3 フォルダーを選択します



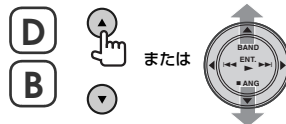
4 フォルダーを決定します



5 ファイルリストを選びます



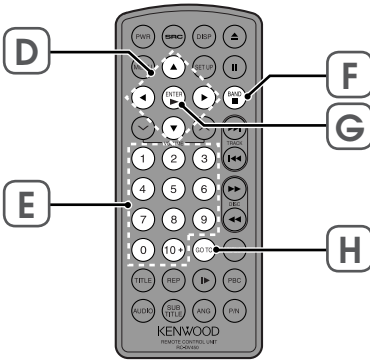
6 ファイルを選択します



7 ファイルを決定します



選択したファイルをプレイします。



GOTOサーチ (DVD, ビデオ CD, 音楽 CD)

再生したい場所をすばやく選択します。

1 サーチモードにします



DVD はチャプターナンバーまたはタイトル経過時間を指定します。
ビデオ CD、音楽 CD はトラック経過時間を指定します。

● 5秒間何も操作しないとサーチモードは解除されます。

2 サーチモードを選びます (DVD のみ)



押すたびに次のように替わります。

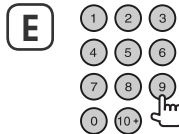
モード	画面表示
チャプターサーチ	"CHAPTER **/**"
経過時間	"TIME __:__:__"

タイトルサーチ



チャプターサーチモード中に押すとタイトルナンバーでサーチができます。

3 再生したい場所を入力します



DVD の入力例

チャプター 13 の場合
"CHAPTER 013/030" : (10) (3)

音楽 CD の入力例

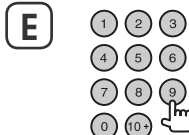
12分34秒の場合
"GO TO 12:34" : (1) (2) (3) (4)

4 指定した場所から再生します (DVD のみ)



ダイレクトトラックサーチ

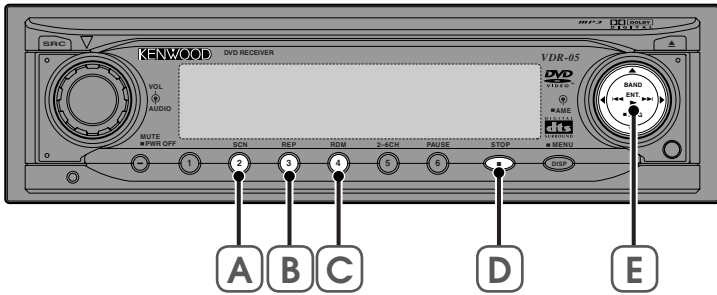
(ビデオ CD[PBC OFF], 音楽 CD, MP3)
トラックナンバー、ファイルナンバーを指定してすばやく選択します。



入力例

トラック 23 の場合 : (10) (10) (3)

ディスクプレイ



ランダムプレイ

(ビデオ CD, 音楽 CD)

ディスク内のトラックをランダムな順に再生します。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。
ランダムプレイ中は RDM インジケーターが点灯します。

- E を押すと、次の曲をランダムに選択します。
- ビデオ CD の PBC ON 中に操作すると PBC がオフになります。

リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク内、フォルダー内の曲を繰り返し再生します。



押すたびに次のようにモードが替わります。
リピートプレイ中は REP インジケーターが点灯します。

DVD の場合

動作	本体表示 / 画面表示
チャプターリピート	"Chapter REP"/ "CHAPTER REPEAT ON"
タイトルリピート	"Title REP"/ "TITLE REPEAT ON"
通常再生 (オフ)	"Normal Play"/ "REPEAT OFF"

ビデオ CD [PBC OFF]、音楽 CD の場合

動作	本体表示 / 画面表示
トラックリピート	"Track REP"/ "REP-ONE"
ディスクリピート	"Disc REP"/ "REP-ALL"
通常再生 (オフ)	"Normal Play"/ "REPEAT OFF"

- 音楽 CD の場合は、通常再生もディスクを繰り返して再生します。

MP3 の場合

動作	本体表示 / 画面表示
ファイルリピート	"Track REP"/ "REP-ONE"
フォルダーリピート	"Folder REP"/ "FOLDER REP"
通常再生 (オフ)	"Normal Play"/ "REPEAT OFF"

スキャンプレイ

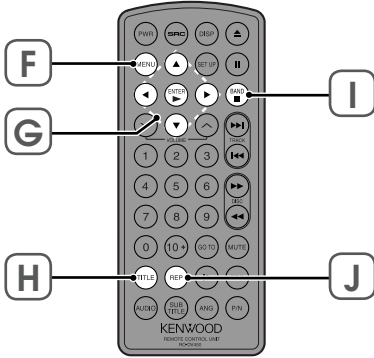
(ビデオ CD, 音楽 CD)

ディスク内の各曲の先頭部分を約 10 秒間ずつプレイして曲を探します。

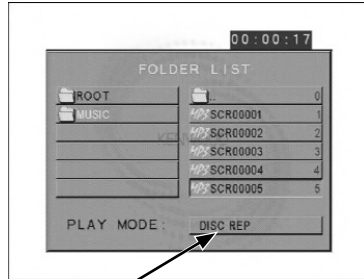
1 スキャンを開始します



スキャンプレイ中は SCN インジケーターが点灯します。



MP3 プレイ画面



プレイモード

Functional Operation

ディスプレイ

2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。

- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。
- ビデオ CD の PBC ON 中に操作すると PBC がオフになります。

MP3 プレイモード (MP3)

プレイする方法を選びます。

1 再生を停止します



2 プレイモードを選びます



選択したところが奥まったボタン表示になります。

3 プレイ方法を選択します



プレイ方法は次のように選択できます。

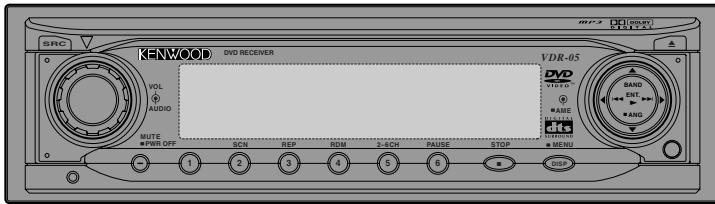
画面表示	設定
"SINGLE" (シングル)	1 曲プレイ後に停止
"REP-ONE" (リピートワン)	1 曲を繰り返しプレイ
"FOLDER" (フォルダー)	フォルダー内の曲をプレイ後に停止
"FOLDER REP" (フォルダーリピート)	フォルダー内の曲を繰り返しプレイ
"DISC SCAN" (ディスクスキャン)	ディスク内の各曲の先頭部分を約 10 秒間ずつプレイ
"DISC" (ディスク)	ディスク内の曲をプレイ後に停止
"DISC REP" (ディスクリピート) (初期設定)	ディスク内の曲を繰り返しプレイ
"RANDOM" (ランダム)	フォルダー内の曲をランダムな順に繰り返しプレイ
"SHUFFLE ON" (シャッフル)	フォルダー内の曲をランダムな順にプレイ、プレイ後に停止

4 プレイします



プレイするファイルを選びます。選択したプレイ方法でプレイします。

ディスクプレイ



スロー再生 (DVD, ビデオ CD)



押すたびに次のように替わります。

DVD プレイ中

速度	画面表示
1/2 倍速送り	"SF 1/2X"
1/4 倍速送り	"SF 1/4X"
1/8 倍速送り	"SF 1/8X"
1/2 倍速戻し	"SR 1/2X"
1/4 倍速戻し	"SR 1/4X"
1/8 倍速戻し	"SR 1/8X"
通常再生	"PLAY"

ビデオ CD プレイ中

速度	画面表示
1/2 倍速送り	"SF 1/2X"
1/4 倍速送り	"SF 1/4X"
1/8 倍速送り	"SF 1/8X"
一時停止	"STEP BWD"

● **B** **ENTER** を押すと通常のプレイに戻ります。

PBC (プレイバックコントロール) 機能の設定 (ビデオ CD)

プレイバックコントロールが記録されているビデオ CD では、PBC 機能を使用するか選択できます。



押すたびに、PBC がオン/オフします。
PBC オン中は PBC インジケーターが点灯します。

DVD のメニューを使う (DVD)

タイトルメニュー/ルートメニューが記録されている DVD で使用できます。

1 メニューを表示します

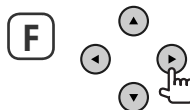
メニュー (ルートメニュー) を表示する



トップメニュー (タイトルメニュー) を表示する



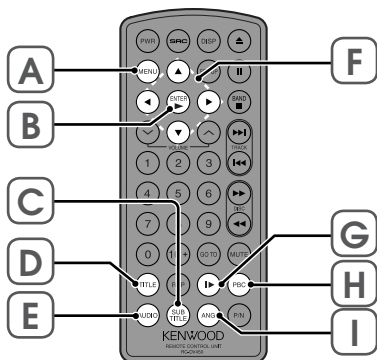
2 アイテムを選択します



3 アイテムを決定します



● メニュー操作についてはディスクの取扱説明書をご覧ください。



音声言語切り替え (DVD)

複数の音声言語が収録されている場合、音声言語を選択できます。



押すたびに音声言語が順に替わります。

- ディスクによっては切り替えることができません。
- この場合は、DVD メニューまたは DVD セットアップで切り替えてください。

字幕の言語切り替え (DVD)

字幕が 1 つまたは複数言語が収録されている場合、字幕の表示のオン/オフや言語を選択できます。



押すたびに字幕の言語が順に替わります。

- ディスクによっては切り替えることができません。
- この場合は、DVD メニューまたは DVD セットアップで切り替えてください。

映像アングルの切り替え (DVD)

映像アングル (角度) が複数収録されている場合、アングルを選択できます。



押すたびにアングルが順に替わります。

- ディスクによっては切り替えることができません。
- この場合は、DVD メニューまたは DVD セットアップで切り替えてください。

音声切り替え

(ビデオ CD, 音楽 CD)

出力する音声を切り替えます。



押すたびに音声が順に替わります。

ビデオ CD の場合

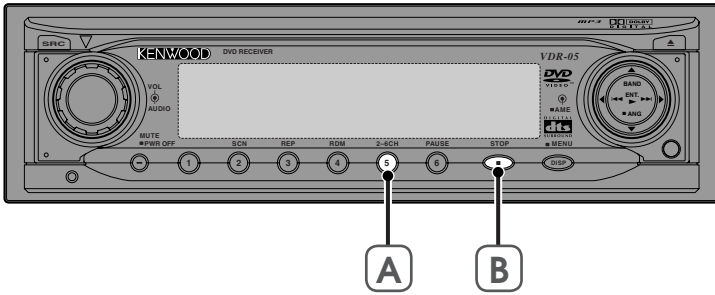
- LEFT VOCAL 左側ボーカル共歌い*
- RIGHT VOCAL 右側ボーカル共歌い*
- MONO LEFT 左側のみの音を出力します。
- MONO RIGHT 右側のみの音を出力します。
- STEREO ステレオ

- ボーカル共歌いの機能は、ビデオ CD にカラオケ用の音声が記録されていないと正しく動作しない場合があります。

音楽 CD の場合

- MONO LEFT 左側のみの音を出力します。
- MONO RIGHT 右側のみの音を出力します。
- STEREO ステレオ

ディスクプレイ



音声出力のチャンネル設定

2チャンネルステレオにミックスして出力するか、各チャンネルをそれぞれ出力するか設定します。

A



1秒以上押すたびに次の順に切り替わります。



- 6チャンネル出力では、リニアPCM音声やビデオCD、音楽CD、MP3など2チャンネルの音声を再生した場合は、ドルビープロロジックをオフしているとフロント出力のみ音が出ます。

テレビタイプの設定

テレビのカラー方式に合わせて設定します。

1 再生を停止します



2 テレビタイプを設定します



押すたびに次の順に切り替わります。

画面表示	設定
"MULTI"	ディスクの記録方式に合わせて自動で替わります。
"NTSC"	NTSC方式で出力します。
"PAL"	PAL方式で出力します。

- リモコンでは一時的に設定を変更します。基本設定は、DVDセットアップの「テレビタイプの設定」で設定してください。(40ページ)

タイトル情報 / ダイジェスト表示 (DVD)

ディスクやタイトル内の情報を表示します。

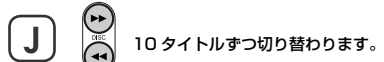
1 タイトル情報画面を表示します



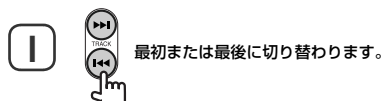
2 見たいタイトルを選択します



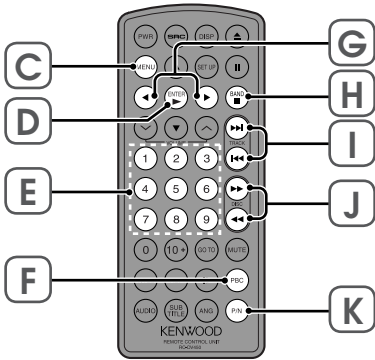
すばやくタイトルを切り替えるには…



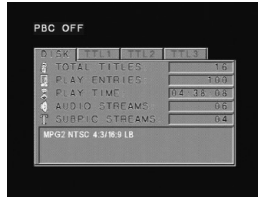
10タイトルずつ切り替わります。



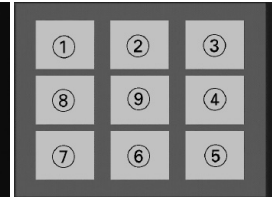
最初または最後に切り替わります。



タイトル情報画面



ダイジェスト画面



3 選択したタイトルをプレイする



プレイを途中で停止するには...



4 ダイジェスト画面を表示します

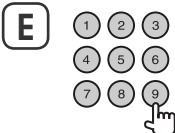


選択したタイトル内のチャプターを表示します。

タイトル情報画面に戻るには...



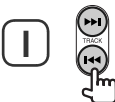
5 チャプターを選択します



プレイを途中で停止するには...



表示ページを替えるには...



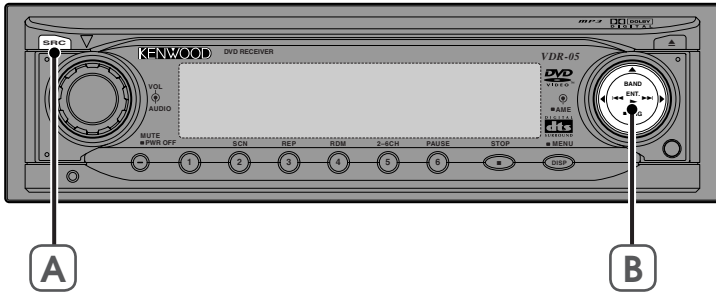
6 タイトル情報画面を終了します



停止状態になります。

- タイトルやチャプターによりプレイできない場合があります。プレイできない場合は元の画面に戻ります。

DVD セットアップ



DVD セットアップ

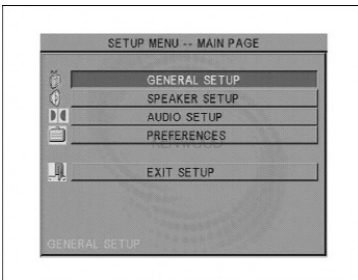
DVD ソースモードの各設定を画面表示で行います。

1 DVD ソースモードにします



数回押しして DVD ソースモードを選択します。

2 DVD セットアップにします



表示

"GENERAL SETUP"	34 ページ
"SPEAKER SETUP"	38 ページ
"AUDIO SETUP"	36 ページ
"PREFERENCES"	40 ページ
"EXIT SETUP"	DVD セットアップを終了します。

3 設定ページを選択します



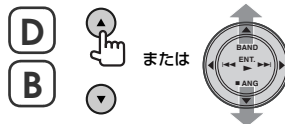
選択中の項目は白文字で表示されます。

- 「音声出力のチャンネル設定」(30 ページ) で "Stereo" に設定していると "SPEAKER SETUP" の設定はできません。
- プレイ中は "PREFERENCES" の設定ができません。再生を停止 ("Stop") してから操作してください。

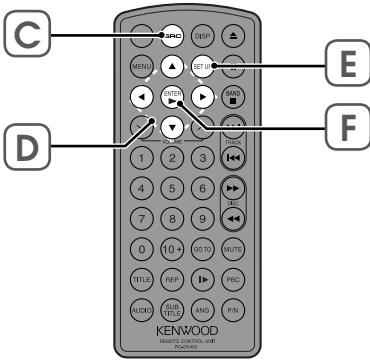
4 設定ページを決定します



5 設定項目を選択します



設定項目と設定値は、それぞれ設定の操作をご覧ください。



6 設定項目を決定します



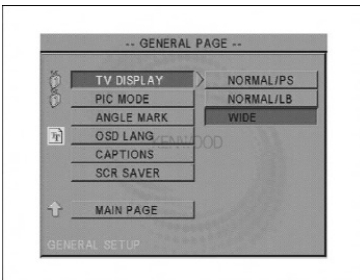
7 設定値を選択します



8 設定値を決定します



設定した値は奥まったボタン表示になります。



9 メインページに戻ります

“MAIN PAGE” を選択します



“MAIN PAGE” を決定します



10 DVD セットアップを終了します

“EXIT SETUP” を選択します

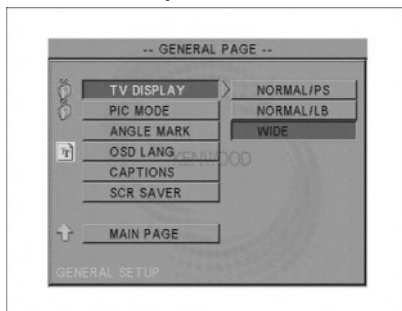


“EXIT SETUP” を決定します



DVD セットアップ

General Setup 画面



画面アスペクト設定

接続するモニターに合わせて設定します。

1 “GENERAL SETUP” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、「GENERAL SETUP」を選択します。

2 “TV DISPLAY” を設定します

表示	設定
“NORMAL/PS”	パン&スキャン方式(左右の切れた画面)でワイド版の映像を再生する場合に選択します。
“NORMAL/LB”	レターボックス方式(上下に黒い帯がある画面)でワイド版の映像を再生する場合に選択します。
“WIDE”	ワイド版の映像の場合に選択します。

ピクチャーモード設定

DVD の画像モードを設定します。

1 “GENERAL SETUP” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、「GENERAL SETUP」を選択します。

2 “PIC MODE” を設定します

表示	設定
“AUTO” (オートモード)	元の画像に合わせて自動的に切り替わります。
“HI-RES”	DVD に記録された元の(ハイレゾリューションモード)のモードです。
“N-FLICKER”	DVD に記録された元の(ノンフリッカー画像がフィルム映画用のモード)のモードです。

映像アングルマーク表示設定

DVD に映像アングル(角度)が複数収録されている場面を再生しているとき、マークを表示して知らせます。

1 “GENERAL SETUP” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、「GENERAL SETUP」を選択します。

2 “ANGLE MARK” を設定します

表示	設定
“ON”	アングルマークを表示します。
“OFF”	アングルマークは表示しません。

クローズドキャプション設定

クローズドキャプション情報が記録されたディスクを再生した場合に、クローズドキャプション情報を出力することができます。

1 “GENERAL SETUP” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、“GENERAL SETUP” を選択します。

2 “CAPTIONS” を設定します

表示	設定
“ON”	クローズドキャプション情報を出力します。
“OFF”	クローズドキャプション情報を出力しません。

スクリーンセーバー設定

画面の焼き付きを防止するため、一定時間画面が変わらないとスクリーンセーバーが起動するように設定できます。

1 “GENERAL SETUP” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、“GENERAL SETUP” を選択します。

2 “SCR SAVER” を設定します

表示	設定
“ON”	スクリーンセーバーが起動します。
“OFF”	スクリーンセーバーを使用しません。

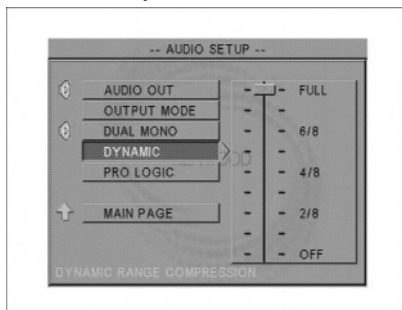
※ 設定しない項目

次の設定項目は設定を変更できません。そのままお使いください。

- “GENERAL SETUP” 内
 - “OSD LANG” 項目

DVD セットアップ

Audio Setup 画面



デュアルモノ音声の設定

ドルビーデジタルのデュアルモノ (1+1) 方式で記録された DVD を再生しているときに出力する音声を設定します。

1 “AUDIO SETUP” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、“AUDIO SETUP” を選択します。

2 “DUAL MONO” を設定します

表示	設定
“STEREO”	ステレオで出力します。
“L-MONO”	左側のみの音を出力します。
“R-MONO”	右側のみの音を出力します。
“MIX-MONO”	左右をミックスして出力します。

ダイナミックレンジの圧縮設定

ドルビーデジタル方式で記録された DVD の再生音域 (ダイナミックレンジ) を設定します。

1 “AUDIO SETUP” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、“AUDIO SETUP” を選択します。

2 “DYNAMIC” を設定します

表示	設定
“FULL”	小さい音量でも迫力のある音で再生します。
“7/8”	
“6/8” / “3/4”	大
“5/8”	↑
“4/8” / “1/2”	圧縮率
“3/8”	↓
“2/8” / “1/4”	小
“1/8”	
“OFF”	標準の音域で再生しません。

ドルビープロロジックの設定

ドルビーデジタル 2 チャンネルの DVD およびビデオ CD、音楽 CD、MP3 を再生時にドルビープロロジックを使用するかを設定します。

1 “AUDIO SETUP” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、“AUDIO SETUP” を選択します。

2 “PRO LOGIC” を設定します

表示	設定
“OFF”	ドルビープロロジックを使用しません。
“ON”	ドルビープロロジックを使用します。
“AUTO”	ドルビーサラウンドを使用できる場合、自動的にオンします。

※ 設定しない項目

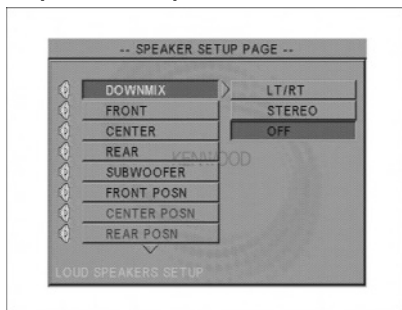
次の設定項目は設定を変更できません。そのままお使いください。

“AUDIO SETUP” 内

- “AUDIO OUT” 項目
- “OUTPUT MODE” 項目

DVD セットアップ

Speaker Setup 画面



音声出力のチャンネル設定

2チャンネルステレオにミックスして出力するか、各チャンネルをそれぞれ出力するか設定します。

1 “SPEAKER SETUP” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、「SPEAKER SETUP」を選択します。

2 “DOWNMIX” を設定します

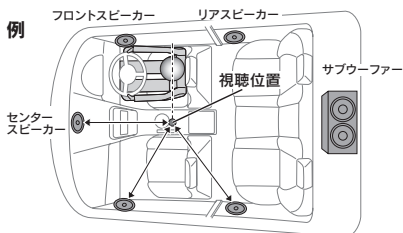
表示	設定
“LT/RT”	ドルビーサラウンドにミックスして出力します。
“STEREO”	ステレオにミックスして出力します。
“OFF”	マルチチャンネルで出力します。

- マルチチャンネルでは、ドルビープロロジックを
- オフでリニア PCM 音声やビデオ CD、音楽 CD、MP3 など 2 チャンネルの音声を再生した場合は、フロント出力のみ音が出ます。

スピーカーの環境設定

スピーカーの有無を設定します。また、ポジションではスピーカーまでの距離を設定して、スピーカー間の距離差を補正します。

- 前記の “DOWNMIX” 項目を “LT/RT” または “STEREO” に設定するとスピーカーの環境設定はできません。
- “FRONT” および “CENTER”、“REAR” 項目の “LARGE” / “SMALL” の設定は、ドルビーディジタル方式を再生するときの低音を補正します。
- “FRONT” 項目の “SMALL” は、“SUBWOOFER” 項目を “PRESENT” に設定している場合に選択できます。



1 “SPEAKER SETUP” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、「SPEAKER SETUP」を選択します。

2 フロントスピーカーを設定します

項目選択

“FRONT” を選択します。

設定値

表示	設定
“LARGE”	低音まで再生できるスピーカー。
“SMALL”	あまり低音を再生できない小さいスピーカー。

3 センタースピーカーを設定します

項目選択

“CENTER” を選択します。

設定値

表示	設定
“LARGE”	低音まで再生できるスピーカー。
“SMALL”	あまり低音を再生できない小さいスピーカー。
“OFF”	センタースピーカーがない。

4 リアスピーカーを設定します**項目選択**

“REAR” を選択します。

設定値

表示	設定
“LARGE”	低音まで再生できるスピーカー。
“SMALL”	あまり低音を再生できない小さいスピーカー。
“OFF”	リアスピーカーがない。

5 サブウファーを設定します**項目選択**

“SUBWOOFER” を選択します。

設定値

表示	設定
“PRESENT”	サブウファーがある。
“NONE”	サブウファーがない。

6 フロントスピーカーのポジション設定**項目選択**

“FRONT POSN” を選択します。

設定値

“0.5 FT/0.1 M” から “13.0 FT/3.3 M” まで 0.5 フィート (約 0.1 メートル) ステップで調整できます。

7 センタースピーカーのポジション設定**項目選択**

“CENTER POSN” を選択します。

設定値

“0.5 FT/0.1 M” から “13.0 FT/3.3 M” まで 0.5 フィート (約 0.1 メートル) ステップで調整できます。

8 リアスピーカーのポジション設定**項目選択**

“REAR POSN” を選択します。

設定値

“0.5 FT/0.1 M” から “13.0 FT/3.3 M” まで 0.5 フィート (約 0.1 メートル) ステップで調整できます。

テストトーン

スピーカーの出力レベルを設定するための、トーン (ノイズ信号) が各チャンネル順に出力されます。各チャンネルの出力レベルが合うように調整します。

- 前記の「スピーカーの環境設定」を先に設定してください。

1 “SPEAKER SETUP” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、“SPEAKER SETUP” を選択します。

2 “TEST TONE” を設定します

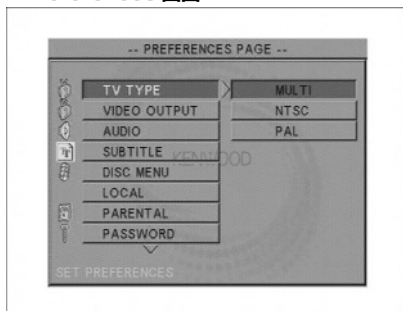
表示	設定
“ON”	トーン (ノイズ信号) を出力します。
“OFF”	トーンを停止します。

3 各スピーカーのレベルを調整します

「オーディオ調整モード」(16 ページ) を参照して、各スピーカーの音量が同じに聞こえるように調整します。

DVD セットアップ

Preferences 画面



テレビタイプの設定

テレビのカラー方式に合わせて設定します。

1 “PREFERENCES” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、「PREFERENCES」を選択します。

2 “TV TYPE” を設定します

表示	設定
“MULTI”	ディスクの記録方式に合わせて自動で替わります。
“NTSC”	NTSC 方式で出力します。
“PAL”	PAL 方式で出力します。

- リモコンでも一時的に設定することができます。(30 ページ)

音声言語の設定

優先する音声言語を選択します。

1 “PREFERENCES” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、「PREFERENCES」を選択します。

2 “AUDIO” を設定します

表示	設定
“ENGLISH”	英語
“FRENCH”	フランス語
“SPANISH”	スペイン語
“CHINESE”	中国語
“JAPANESE”	日本語

字幕言語の設定

優先する字幕言語を選択します。

1 “PREFERENCES” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、「PREFERENCES」を選択します。

2 “SUBTITLE” を設定します

表示	設定
“ENGLISH”	英語
“FRENCH”	フランス語
“SPANISH”	スペイン語
“CHINESE”	中国語
“JAPANESE”	日本語
“OFF”	字幕を表示しません。

ディスクメニュー言語の設定

優先するディスクのメニュー言語を選択します。

1 “PREFERENCES” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、「PREFERENCES」を選択します。

2 “DISC MENU” を設定します

表示	設定
“ENGLISH”	英語
“FRENCH”	フランス語
“SPANISH”	スペイン語
“CHINESE”	中国語
“JAPANESE”	日本語

パレンタル地域の設定

パレンタルロックで使用する地域を設定します。

1 “PREFERENCES” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、“PREFERENCES” を選択します。

2 “LOCAL” を設定します

表示	設定
“CHINA”	中国
“FRANCE”	フランス
“HONG KONG”	香港
“JAPAN”	日本
“TAIWAN”	台湾
“GBR”	イギリス
“USA”	アメリカ

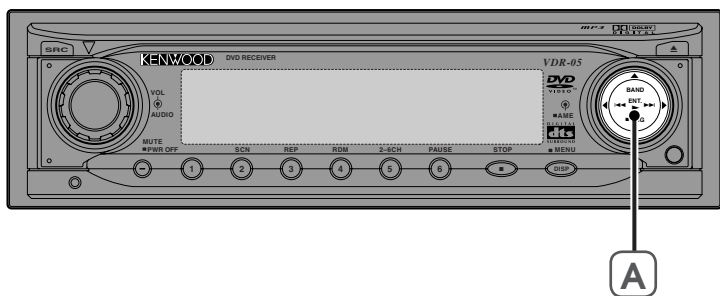
※ 設定しない項目

次の設定項目は設定を変更できません。そのままお使いください。

“PREFERENCES” 内

- “VIDEO OUTPUT” 項目
- “FOLDER LIST” 項目

DVD セットアップ



1 パレントラルロック（視聴制限）の設定

視聴制限するレベルを設定します。

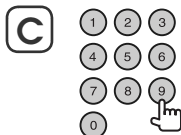
1 “PREFERENCES” を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、「PREFERENCES」を選択します。

2 “PARENTAL” を設定します

表示	設定
"1 G"	子供向けのみ再生可能
"2"	
"3 PG"	
"4 PG 13"	
"5"	
"6 PG-R"	
"7 NC-17"	
"8 ADULT"	
"NO_PARENTAL"	視聴制限を解除します。

4 パスワードを入力します



5 決定します



- 再生している場面で設定した規制レベルより高い場合には、視聴規制設定画面が表示されますパスワードを入力しないと、再生が継続されず、別のレベルの映像が再生されます。
- 規制レベルはディスクにより異なります。
- 視聴規制のないディスクでは視聴規制を設定しても、再生は制限されません。

パスワードの変更

パレントラルロックの設定と設定の初期化で使用するパスワードを変更します。

1 “PREFERENCES” を選択します

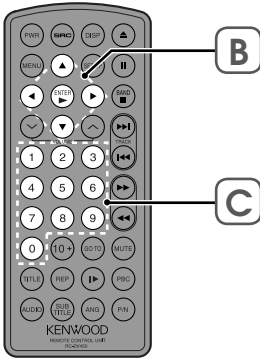
「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、「PREFERENCES」を選択します。

2 “PASSWORD” を選択します

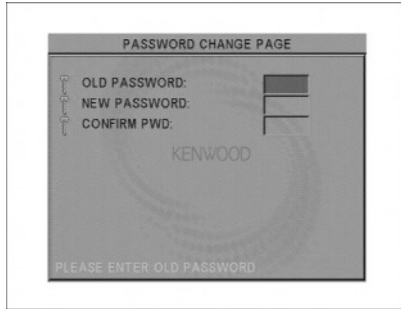


3 “CHANGE” を選択します

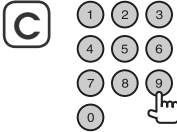




パスワード変更画面



4 パスワードを変更します



表示	
"OLD PASSWORD"	現在のパスワードを入力します。
"NEW PASSWORD"	新しいパスワードを入力します。
"CONFIRM PWD"	確認のためもう一度入力します

2 "DEFAULTS" を選択します



3 "RESET" を選択します

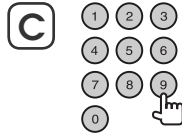


5 パスワードを決定します



● 初期設定は "3308" です。

4 パスワードを入力します



5 初期化します



● DVD セットアップの設定値は、本体のリセットボタンを押しても初期化されません。

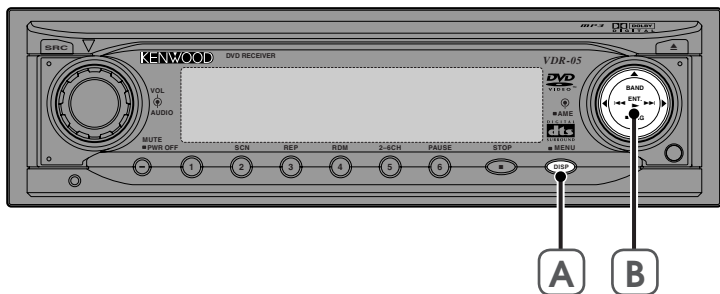
設定の初期化

DVD セットアップで設定した値を工場出荷状態に戻します。

1 "PREFERENCES" を選択します

「DVD セットアップ」(32 ページ) を参照して、「PREFERENCES」を選択します。

ディスプレイコントロール



● 本体表示切り替え



押すたびに次のように替わります。

チューナーソースモード

本体表示例	内容
"FM1-1 82.5"	バンド、プリセットナンバー、周波数表示
"AM 00:00"	時計表示 (5秒間のみ表示します)

DVD ソースモード

本体表示例	内容
"001-00:00:01"	チャプター/トラックナンバー、演奏時間表示
"AM 00:00"	時計表示 (5秒間のみ表示します)
"DVD 01-001" / "CD Audio"	ディスクタイプ (5秒間のみ表示します)

- 演奏時間は「ディスク演奏時間表示切り替え」で切り替えることができます。(44ページ)

AUX ソースモード

本体表示例	内容
"AUX IN"	ソースモード名
"AM 00:00"	時計表示 (5秒間のみ表示します)

● ディスク演奏時間表示切り替え



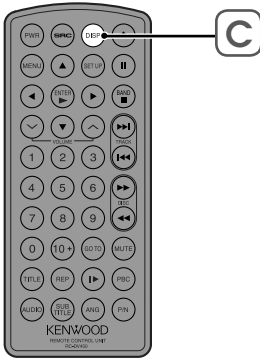
押すたびに次のように替わります。

DVD プレイ中

画面表示	内容
"TITLE 01/01 CHAPTER 001/001"	タイトルナンバー、 チャプターナンバー、 タイトル経過時間
"TITLE REMAIN"	タイトル残時間
"CHAPTER ELAPSED"	チャプター経過時間
"CHAPTER REMAIN"	チャプター残時間
	表示オフ (本体表示はタイトル 経過時間)

ビデオ CD[PBC ON] プレイ中

画面表示	内容
"SINGLE ELAPSED"	トラック経過時間
"SINGLE REMAIN"	トラック残時間
	表示オフ (本体表示はトラック 経過時間)
"OFF"	



ビデオ CD[PBC OFF]、音楽 CD プレイ中

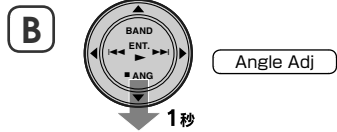
画面表示	内容
"SINGLE ELAPSED"	トラック経過時間
"SINGLE REMAIN"	トラック残時間
"TOTAL ELAPSED"	ディスク経過時間
"TOTAL REMAIN"	ディスク経過時間
"OFF"	表示オフ (本体表示はトラック経過時間)

MP3 プレイ中

画面表示	内容
"SINGLE ELAPSED"	トラック経過時間
(ファイル名)	表示オフ (本体表示はトラック経過時間)

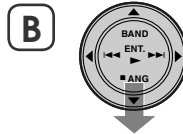
操作パネルのアングル調整

1 アングル調整モードにします



"Angle Adj" と表示されるまで押し続けます。

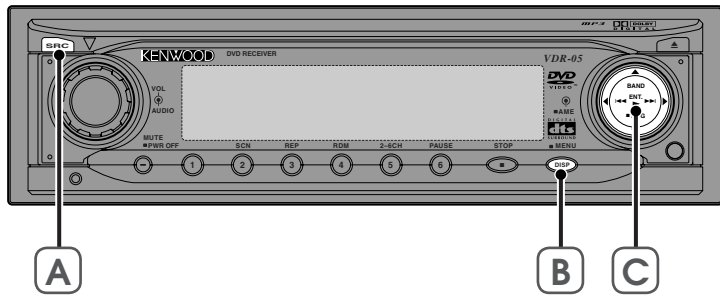
2 アングルを調整します



押すたびにアングルが替わります。

- 5秒間何も操作しないとアングル調整モードは解除されます。
- エンジンキーをオフにすると操作パネルは自動的に閉じます。

メニューシステム



メニュー設定

操作時の確認音などの各種の機能を設定します。

1 時刻以外の表示にします



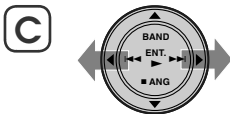
周波数または演奏時間、AUX を表示させます。

2 メニューモードにします

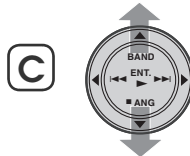


表示が替わるまで押し続けます。

3 設定項目を選択します



4 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
"Clock" (時計表示モード)	12H / 24H
"Beep" (操作確認音)	ON / OFF
"NAV MUTE" (ナビ音声ガイド時の設定)	ON / OFF
"Contrast" (本体表示のコントラスト設定)	00 ~ 07

(太文字は初期設定値)

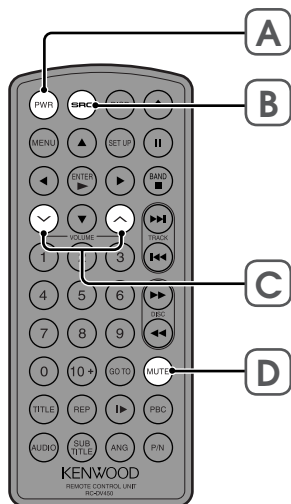
5 メニューモードを終了します



- 5秒間何も操作しないとメニューモードは解除されます。

リモートコントロール

各モード共通



電源のオフ



電源が切れます。

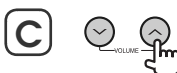
● リモコンでは電源を入れることはできません。本体で電源を入れてください。(14ページ)

ソース切り替え



プレイするソースを切り替えます。

音量調整



音量を調整します。

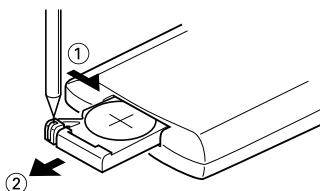
ミュート



音量を一時的に消音にします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

電池の交換のしかた

ペン先などで①の方向にロックを外しながら②の方向へ電池ボックスを引き出します。リチウム電池 (CR2025) を電池ボックスの表示にしたがって ⊕ と ⊖ を間違えないように入れてください。

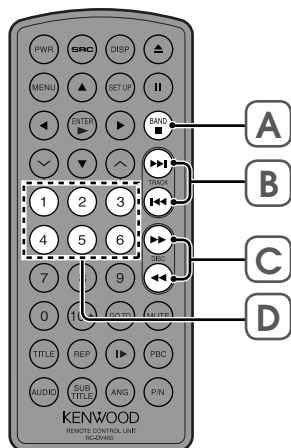


● 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、リチウム電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、新しいリチウム電池と交換してください。



- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入った、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

チューナーモード



バンド切り替え

A



受信するバンドを切り替えます。

オートチューニング

B



受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

マニュアルチューニング

C



受信する放送局を手動で選びます。
押すたびに周波数が1ステップずつ替わります。

プリセットチューニング

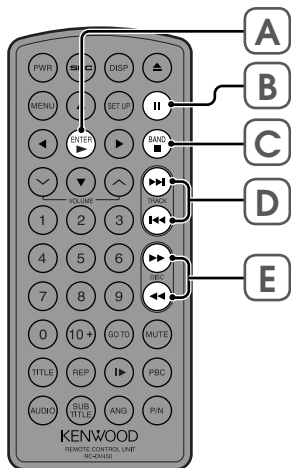
D



メモリーされている放送局の番号を選択します。

リモートコントロール

DVD / ビデオ CD /
音楽 CD / MP3 モード



チャプター/トラック/ファイルサーチ

D



プレイするチャプター/トラック/ファイルを選択します。

早送り/早戻し

E



押すたびに次のように替わります。

速度	画面表示
2倍速	"FF 2X" / "FR 2X"
4倍速	"FF 4X" / "FR 4X"
6倍速	"FF 6X" / "FR 6X"
8倍速	"FF 8X" / "FR 8X"
通常再生	"PLAY"

プレイ

A



プレイを始めます。

ポーズ

B



プレイを一時停止します。もう一度押すと、プレイします。

ストップ

C



DVD
プレイ位置を記憶して停止します。もう一度押すと、プレイ位置を消去します。

ビデオ CD、音楽 CD、MP3
プレイを停止します。

- 上記は基本操作の説明です。その他の機能は、ディスクプレイ
- をご覧ください。(22 ページ)

Help ?Operation

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(62 ページ) を参照して正しく接続し直してください。


音が出ない / 音が小さい

- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- スピーカーの環境設定を間違えている。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。(16 ページ)
- スピーカーの環境設定を正しく設定し直してください。(38 ページ)

映像が出ない

- DVD ソースモードにしていない。
- パーキングセンサーコードを接続していない。
- パーキングブレーキが引かれていない。
- NTSC/PAL の設定を間違えている。
- DVD ソースモード以外では映像を出力しません。
- 「接続」(62 ページ) を見てパーキングセンサーコードを正しく接続し直してください。
- パーキングブレーキを引かないとビデオの映像は視ることはできません。
- テレビタイプを“NTSC”に設定してください。(30 ページ)

操作スイッチを押しても動作しない

- 画面に「」が表示される。
- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- ディスクにより禁止されている操作を行うことはできません。
- リセットボタンを押してください。(8 ページ)

音質が悪い (音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(62 ページ) を参照して正しく接続し直してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

サブウーファーまたはセンタースピーカーから音が出ない

- チューナーソースまたは AUX ソースを選択している。
- スピーカーの環境設定を間違えている。
- サブウーファーおよびセンタースピーカーからの音声は DVD ソースモード時のみ出力されます。
- スピーカーの環境設定を正しく設定し直してください。(38 ページ)

リアスピーカーから音が出ない

- 音声出力のチャンネル設定を6チャンネル出力に設定している。
- スピーカーの環境設定を間違えている。

- ドルビープロロジックをオフでリニアPCM音声やビデオCD、音楽CD、MP3をプレイするとフロントスピーカーのみ出力されます。(30ページ)
- スピーカーの環境設定を正しく設定し直してください。(38ページ)

DVD/ビデオCD/音楽CDソース

ディスクが入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

ディスクを取り出せない

- 本体の電源または車両のACCスイッチをオフにしている。
- DVD/CDメカが誤動作している。

- 本体の電源またはACCスイッチをオフにしているとディスクは取り出せません。電源またはACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。
- ▲ ボタンを5秒以上押すとDVD/CDメカがリセットされ排出されます。

ディスクのプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30°以下になるように取り付けしなおしてください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

ディスクをプレイできない

- ディスクが裏返しになっている。
- ディスクが異常に汚れている。
- 結露している。
- ディスクが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上に入れて直してください。
- 「ディスクの取り扱い」(11ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度ディスクを挿入してください。(8ページ)

CD-R、CD-RWがプレイできない

ファイナライズ処理を行っていない。

CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(25ページ)

DVD/ビデオ CD/音楽 CD mode

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

リピートプレイがオンになっている。

リピートプレイをオフにしてください。(26 ページ)

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。

スキャンプレイをオフにしてください。(26 ページ)

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(26 ページ)

スキャンプレイ、ランダムプレイ、リピートプレイが勝手にオフされる

ソースモードを切り替えた、または電源や ACC をオフにした。

ソースモードを切り替えたり、電源や ACC をオフするとスキャン/ランダム/リピートプレイは解除されます。

映像が乱れる

- 早送り / 早戻ししている。
- NTSC/PAL の設定を間違えている。

- 多少乱れることがありますが、故障ではありません。
- テレビタイプを“NTSC”に設定してください。(30 ページ)

DVD を選んでも再生しない

- ディスクがセットされていない。
- ディスクが裏返しである。
- ディスクが異常に汚れている。
- 本機で再生できないディスクが入っている。
- 視聴制限がされている。

- プレイするディスクをセットしてください。
- レーベル面を下にして入れ直してください。
- 「ディスクの取り扱い」を見て、ディスクをクリーニングしてください。
- 再生できるディスクを確認してください。(9 ページ)
- 視聴制限を解除、または規制レベルを変更してください。(42 ページ)

音声言語 / 字幕言語 / アングルが切り替わらない / 優先言語にならない

複数の言語 / 字幕 / アングルが記録されていない。

メニューで切り替えられる場合がありますので、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ビデオ CD でメニュー (P.B.C.) が出てこない

ビデオ CD に P.B.C. (プレイバックコントロール) が記録されていない。

ビデオ CD に P.B.C. (プレイバックコントロール) が記録されていると操作することができます。

MP3 ソース

MP3 ファイルをプレイ中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがある。

「ディスクの取り扱い」(11 ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3 ディスク、MP3 ファイルがプレイできない

- ISO9660 level1/2, または Joliet に準拠して記録されていない。
- MP3 ファイルに拡張子が付いてない。
- ディスクに傷や汚れがある。

- ISO9660 level1/2, または Joliet (56 ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- MP3 ファイルには “.MP3” を付けてください。
- 「ディスクの取り扱い」(11 ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3 ディスクをプレイ時に雑音が入る / 音が出なくなる

MP3 ファイル以外に “.MP3” 拡張子が付いている。

MP3 ファイル以外に付いている “.MP3” 拡張子を消去してください。

フォルダ名 / ファイル名が正しく表示されない

- ISO9660 level1/2, または Joliet に準拠して記録されていない。
- ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。

- ISO9660 level1/2, または Joliet (56 ページ) に準拠したディスクを使用してください。
- ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

MP3 ファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

—

MP3 ディスクをプレイするまで時間がかかる

ディスクに記録されているフォルダ / ファイル / 階層が多い。

最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているディスクを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3 ファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に “00” ~ “99” などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

CD-RW に記録した MP3 ファイルがプレイされない

CD-RW の消去を簡易フォーマットで行ったため。

CD-RW を消去するときは、フルフォーマットで行ってください。

MP3 ファイルの先頭に戻ってしまう

ソースモードを切り替えた、または電源や ACC をオフにした。

ソースモードを切り替えたり、電源や ACC をオフすると次に再生するときはファイルの先頭からプレイします。

Help ?MP3

本機は MP3 ファイルをプレイすることができますが、使用できる MP3 ファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3 ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

以下に記載されている制限文字数はいずれも 1 byte 文字を使用した場合の文字数です。

使用できるメディア

使用できる MP3 を収録するためのメディアは CD-ROM、CD-R、および CD-RW です。

なお、本機では簡易フォーマットで作成されたメディアはプレイできません。

プレイできる MP3 フォーマット

本機でプレイできる MP3 ファイルは、MPEG 1、MPEG 2 Audio Layer 3 規格のものです。

- サンプルング周波数
: 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート: 8 ~ 320 (kbps)

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子 3 文字を含む）です。

- ISO 9660 Level 1 : 12 文字
- ISO 9660 Level 2 : 31 文字
- Joliet : 64 文字

ただし、本機で表示できる文字数は 11 文字までです。

前記のフォーマット以外で書き込まれた MP3 ファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3 ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、MP3 ファイルと認識されてプレイされるファイルは、“MP3”の拡張子が付いたものだけです。MP3 ファイルには、“MP3”拡張子を付けて保存してください。



禁止

MP3 以外のファイルに、“MP3”の拡張子を付けると、MP3 ファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

MP3 以外のファイルに、“MP3”拡張子を付けないようにしてください。

ID3 Tag について

本機は ID3 Tag の表示はできません。

メディアに書き込むファイルについて

MP3 が収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。

このため、プレイするメディアに多くのフォルダや MP3 以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。

また、次の MP3 ファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

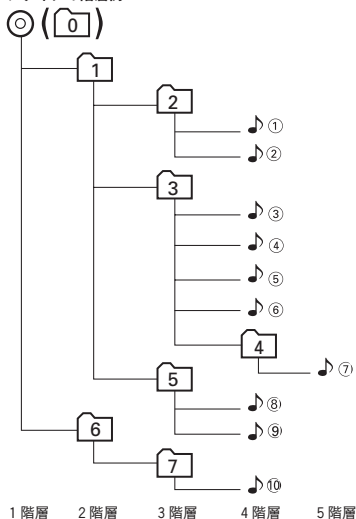
MP3 ファイルをプレイする順番

プレイおよびファイルサーチでファイルが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してから CD-R など書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでファイルサーチを行った場合は次のようになります。

メディアの階層例



- フォルダ
- MP3ファイル
- ルート
Root

♪ ④ 再生中にファイルサーチを行うと・・・

押すボタン		
プレイ中のファイルNo.	♪④	♪⑤
	♪④の最初 ▶♪③	▶♪⑥

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権利権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

Beep

(ビーブ)

SRC ボタンを押したときや、ボタンを1秒以上押したとき、押されたことを確認できるように“ビッ”音がする機能です。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

なお、Beep音はスピーカーおよびブリアウトからは出力されません。

DTS : Digital Theater System

(デジタルシアター システム)

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTS サウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

MP3

(エムピスリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを目指す場合もあります。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help ?MP3」(54ページ)をご覧ください。

NAV MUTE

(ナビ ミュート)

カーナビゲーションシステムを接続すると、カーナビゲーションの音声案内時に、一時オーディオの音を消すことができます。

PBC (プレイバックコントロール)

本機は、プレイバックコントロール (PBC) 付き対応ビデオCD (バージョン2.0) に対応しています。PBCとはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができます。を言います。

タイトル

DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。各タイトルに付けられた番号をタイトルナンバーと呼びます。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。各チャプターに付けられた番号をチャプターナンバーと呼びます。

トラック

CDに収録されている曲の区切り (1曲分) をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。

ドルビーデジタル

(Dolby Digital)

ドルビー研究所の開発したデジタル音声の圧縮技術です。5.1チャンネル・サラウンドに対応しています。すべてのチャンネルを完全に分離した形で記録されているため、大量の音声データを効率良くディスクに収められ、またデジタルのため劣化しにくい特長があります。

ドルビープロロジック

ドルビーサラウンドの方式で2チャンネルに記録された4チャンネル信号を再生時に再び4チャンネル(フロントL/R、センター、リアサラウンド(モノラル))の信号に戻すための装置です。

リニアPCM 音声 (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式。音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生ができます。

視聴規制 (パレンタルロック)

国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、全く再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- No Disc** : ● ディスクが異常に汚れている。
● ディスクが裏返しになっている。
● ディスクに傷が多く付いている。
● ディスクが入っていない。
- Disc Error** : ● ディスクが異常に汚れている。
● ディスクが裏返しになっている。
● ディスクに傷が多く付いている。
- Unknown Disc** : ● 再生できないフォーマットのディスクです。
- Region Error** : ● リージョンコードが再生できないDVD ディスクです。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

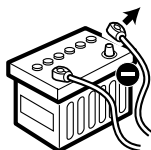
- Error** : DVD/CD メカが正常に動作していない。
➡▲ ボタンを5秒以上押してください。DVD/CD メカがリセットされます。
- Mecha Error** : ● 何らかの原因で正常に動作していない。
➡ イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Loading** : ディスクに収録されているデータのチェック中です。

取り付け時のご注意

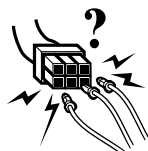
警告



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



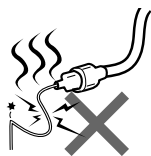
本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。

また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続

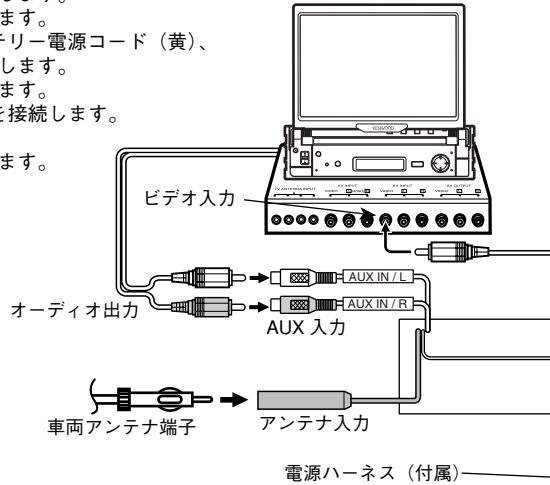


最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

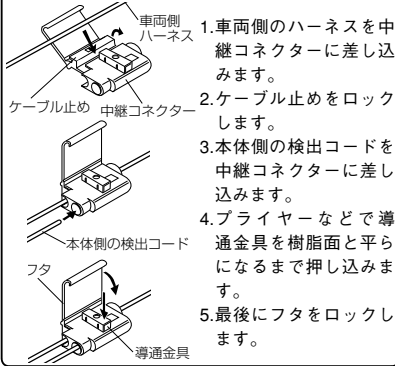
実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを確かめて接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（8ページ）を押します。

フロントモニター/テレビチューナーなど（別売品）



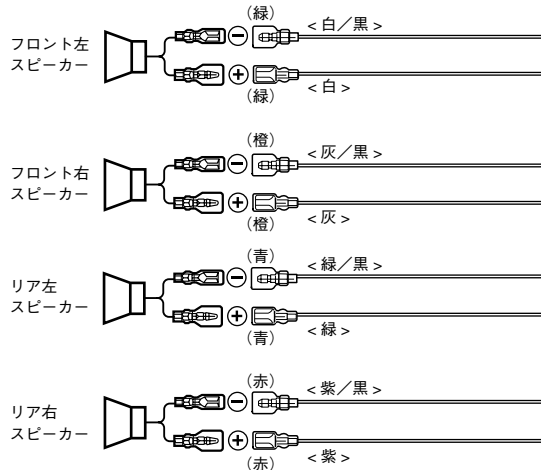
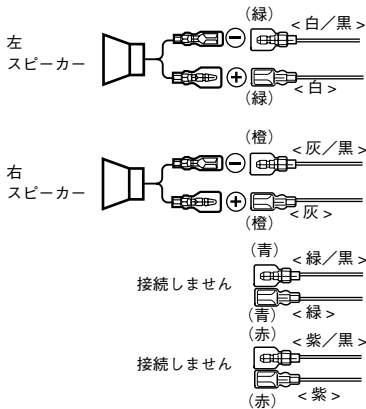
中継コネクターの使い方



注意

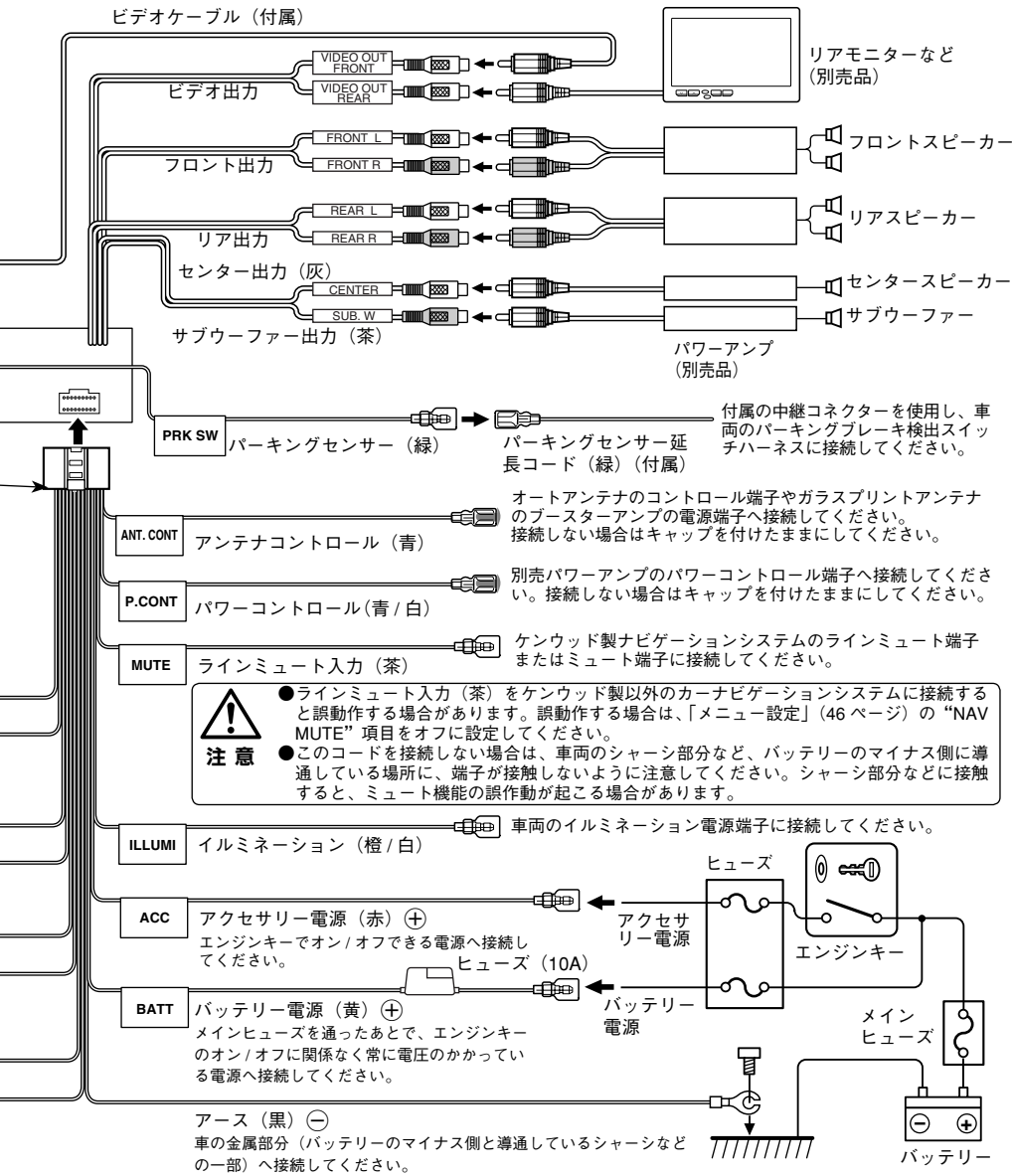
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法



注意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。



取り付け

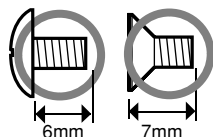
本機を取り付けるには、付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を 4 本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



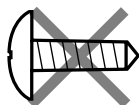
取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。




付属取付ネジ



その他のネジ

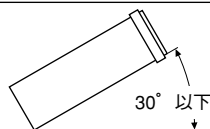


取付ネジ一覧

	トラスネジ (M5 × 6mm)	4
	サラネジ (M5 × 7mm)	4
	セムスネジ (M4 × 8mm)	1



- 本機取り付け角度は 30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



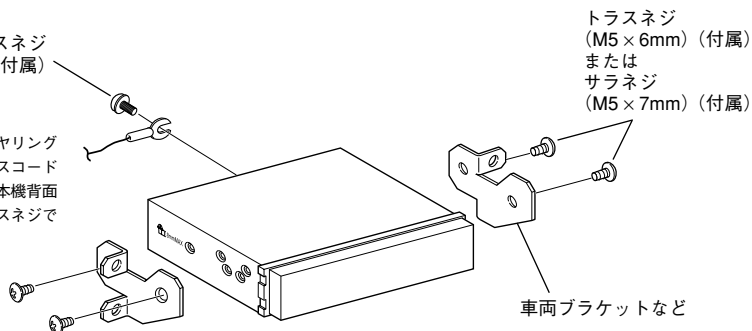
別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

◆車両ブラケットを使用して取り付ける場合

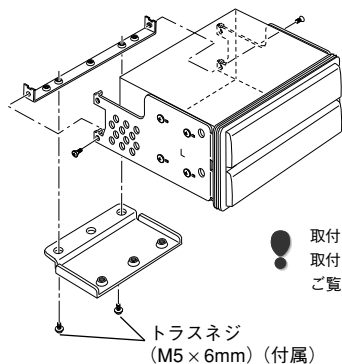
スリーブケースを本機から取り外してから取り付けを行います。

セムスネジ
(M4 × 8mm) (付属)

- 別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。



◆取付キット SKH-460A または UA-H27D を使用してホンダ車に取り付ける場合



● 取付キット SKH-460A または UA-H27D による取り付けかたは、取付キット SKH-460A または UA-H27D に付属の取付説明書をご覧ください。

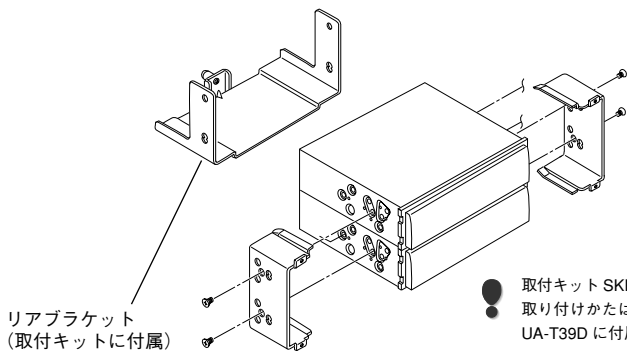


注意

取付キット SKH-460A または UA-H27D に付属の座ネジ (M5 × 10mm) は使用せず、本機に付属のトラスネジ (M 5 × 6 mm) を使用して取り付けを行ってください。

取付キット SKH-460A または UA-H27D に付属のネジを使用すると、電源コードに触れ危険です。

◆取付キット SKR-471 または UA-T39D を使用してマツダ車、欧州車に取り付ける場合



● 取付キット SKR-471 または UA-T39D による取り付けかたは、取付キット SKR-471 または UA-T39D に付属の取付説明書をご覧ください。



注意

取付キット SKR-471 または UA-T39D に付属のリアブラケットは使用せず、取り付けを行ってください。

◆ UA-H27D、UA-T39D は「カナネット」ブランド商品です。取付キット「カナネット」に関するお問い合わせは下記の会社に直接お願いいたします。

株式会社 カナック企画

電話 (03)5660-1234 FAX(03)5660-1231

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土、日、休日設定日は休ませていただきます)

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FM チューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB 感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz ~ 15 kHz
S/N 比	70 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	70 dB 以上
ステレオセパレーション	30 dB (1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ (25 μ V)

DVD プレーヤー部

D/A コンバーター	8Level $\Delta \Sigma$
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz ~ 30 kHz (DVD96kHz サンプリング)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N 比	110 dB
ダイナミックレンジ	90 dB
MP3 デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠
対応ディスク	DVD-VIDEO/VIDEO-CD/CD-DA/MP3
サンプリング周波数	44.1 kHz/ 48 kHz(8fs)/ 96 kHz(4fs)
量子化ビット数	16/24 bit 直線

オーディオ部

最大出力	40 W \times 4
定格出力	28 W \times 4 (4 Ω , 1 kHz, 10%THD 以下)
トーン・コントロール (Bass)	100 Hz \pm 10 dB
(Treble)	10 kHz \pm 10dB
プリアウトレベル	1,800 mV/10 k Ω (DVD, CD プレイ時)
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
ビデオアウト	1 Vp-p (75 Ω)
AUX 入力周波数	20 Hz ~ 20 kHz (\pm 1 dB)
AUX 入力最大電圧	1,500 mV
AUX 入力インピーダンス	55k Ω

電源部

電源電圧	14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量部

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 50 \times 165 mm
質量 (重さ)	1.85 kg

付属部品

電源ハーネス	1 本
サラネジ (M5 \times 7mm)	4 本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	4 本
セムスネジ (M4 \times 8mm)	1 本
リモコン	1 個
電池 (CR2025)	1 個
ビデオケーブル (3m)	1 本
パーキングセンサー延長コード (1m)	1 本
中継コネクター	1 個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒 192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター 〒 226-8525 神奈川県横浜市緑区白山 1-16-2 電話 (045) 933-5212 FAX (045) 933-5553
カスタマーサポートセンター大阪 〒 532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北 2-1-22 電話 (06) 6394-8085 FAX (06) 6394-8308
受付時間 9:00 ~ 18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。